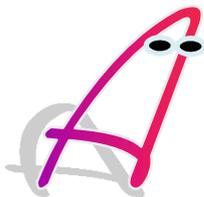


料金後納

ゆうメール



読書感想文

第2回

9月に読んだ書籍をご紹介します！ ☆裏面をご覧ください→

今年も9月に、読書感想文の宿題を出しました。
夢に向かって前進しようとする人、課題を克服しようとする人、様々ですが
その時「読みたい！」そう思った物を手にすればそれで良いと思っています。

<NHK大河ドラマ「花燃ゆ」のサイトより (吉田松陰の言葉)>

本は文字ではない。

本は人じや。

開けば、

触れることができる。

ほかの人の考えに。

江戸におる人にも、外国におる人にも、
とうの昔にじうなつた人にも、出会うことができる。

同じく悩んで、同じく答えを見つけようとした
誰かがおって、教えてくれる。

その人の目で見た、

世の中の、

人生のあらゆることを教えてくれる。

生きるに迷うとるんは、

自分一人じやないことを。

第一回「人むすぶ妹」



【差出人・返還先】

住所 宇都宮市岩曾町1120-3

TEL 028-601-9055

FAX 028-601-9056

H P <http://www.arex.ne.jp/>

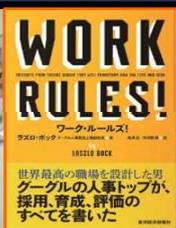
職場も
愉快だ
宇都宮

UTSUNOMIYA

株式会社 アレックス

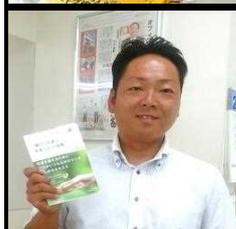


秋は全員で読書



ワーク・ルールズ！ 著:ラズロ・ボック 訳:鬼澤 忍

Googleでおこなわれてきた採用・育成・評価について書かれたものです。創業者は、「有意義な仕事に取り組む会社」「社員が情熱のおもむくままに活動する会社」「社員とその家族を大切に扱う会社」が作りたかったそうです。トップやリーダーになる人にまず必要なのは、「自分はどのような組織にしたいのか」というビジョンを持つことと、それを貫く強い意志だと感じます。



一瞬で心が通う「言葉がけ」の習慣 著:高野 登

「さすが、リッツ・カールトン！」と思わせる内容でした。社員一人一人が勉強しているし、手を抜かずに知恵を出していると言う事もわかりました。ただ、私にも直ぐ出来ることも多いと感じましたので、効果がでるまでは時間がかかると思いますが、少しずつ実践していきます。そして、「リッツカールトン物語」成らぬ、「アレックス物語」を創っていきたいと思います！



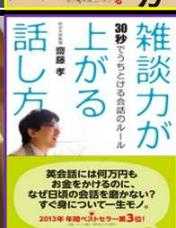
最速の仕事術はプログラマーが知っている 著:清水 亮

もう一度自分の考え方を整理し、効率の良い仕事が出来ているかを再確認したくこの本を選びました。最速とはいうものの、回り道や考える時間も必要であり、著者は常に考えている。さらに、これまでの経験と、それと同じくらいの量の新しい知識が必要だと。私もさらに技術を高め、職人！と呼ばれる域に達したいと思いました。



人の気持ちがわかる人、わからない人 著:和気香子

自分自身が本当に人の気持ちがわからない人間なのか、それならどうすればわかるようになるのか知りたく、この本を選びました。そこで気づいたことは、私には「相手視点」と「共感」が足りないということです。この二つを意識して行動して行きます。今年も本を読む機会を頂き、ありがとうございました。



雑談力が上がる話し方 著:齋藤 孝

日ごろ社内で「つまらない！」と言われ、これではお客様にもそう思われるのでは？と思い、この本を選びました。この本を読んでみて、普段から社長に言われている「共感する事」が大切だと感じます。好感の持てる店員さんは雑談が上手ですし、何度も行くお店には、そういう方が必ずいることに気づきました。「雑談は、会話と言うより人間同士のお付き合い」



修造ドリル 著:松岡修造

日めくりカレンダーが大ヒットしているので、この本に興味を持ちました。
・ドリル形式で習慣や考え方に對し、自分に置き換え考えさせられる。
・正しい姿勢を保つことで筋トレになり、雰囲気も凛とする。
・腹筋に集中し、鼻から空気を吸い込み頬を膨らませて嫌なことと一緒に息を吐く。
著者の熱さや生真面目さと、自分との違いに気づかされました。



一路「上下巻」 著:浅田次郎

田名部(岐阜県・関ヶ原近く)～江戸までの12泊13日の参勤交代が舞台の小説。中山道でのお家騒動、猛吹雪の中の行軍、また加賀百万石のお姫様とのロマンス、なかでも「うつけ・バカ」呼ばわりされているお殿様が面白い。笑いあり感動有り！毎年会社で負担をし、強制的に社員に本を読ませる機会を持たせるこの企画。素晴らしいと思いますので、是非、継続してもらいたいです。



ディズニーシーであった心温まる物語 著:吉田よしか

ディズニーの本は、娘も読みたがるので購入しています。著者の吉田さんは、年間300日以上パークに足を運ぶ有名人。もちろん家族全員がディズニーファン。Ameba公式ブログ「吉田さんちのディズニー日記」からも情報をいただいております。「毎日行っても飽きないの？」と思った方は、ご一読下さい。